

市民の皆様へ

2030年の稲城に向けたご提案を受け付けています！

稲城市では2030年の稲城に向けて、長期総合計画を策定します。  
あなたの考える2030年の稲城の将来像について、ご提案ください。

グループ・団体別懇談会を開催します

希望するグループや団体との懇談の席を設け、市職員がお話を伺いますので、是非お申込みください。

対象	市内在住・在勤・在学の5人以上のグループ・団体
必要事項	①希望日時 ②開催会場 ③代表者住所・氏名 ④電話番号
申込先	市役所5階 企画政策課窓口 電話 042-378-2111 FAX 042-377-4781 メール chou_kei5@city.inagi.lg.jp

ホームページからのご提案はこちらから

[https://www.city.inagi.tokyo.jp/cgi-bin/form\\_eng/formmail.cgi?d=chouki](https://www.city.inagi.tokyo.jp/cgi-bin/form_eng/formmail.cgi?d=chouki)  
個別の返答はいたしませんので、あらかじめご了承ください。



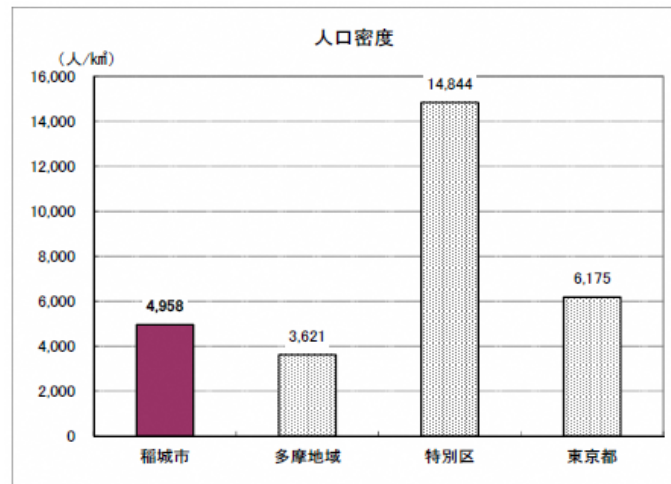
稲城市ちょっとメモ

稲城市の人口密度は、特別区の約3分の1ですが、多摩地域に比べると、やや高くなっています。

稲城市は多摩地域に比べマンションが多いため、人口密度は高くなっているものの、都市公園等の面積の割合は、多摩市、武蔵村山市に次ぎ第3位であり、コンパクトで緑の多いゆとりのある地域であると言えます。

『多摩地域データブック (H29年度)』

稲城市の人口密度は？



2030年の稲城を描く

発行 稲城市  
編集 企画部 企画政策課 長期総合計画担当  
〒206-8601 稲城市東長沼 2111  
☎042-378-2111 (代表) 内線 532  
e-mail chou\_kei5@city.inagi.lg.jp

2030年の稲城を描く

No.14(最終回)

市民会議 6月28日開催

第14回 市民会議を開催しました

6月28日、地域振興プラザにおいて「2030年の稲城を描く市民会議」第14回を開催しました。平成30年8月から13回にわたって話し合い、作り上げてきた2030年の稲城を描く市民会議提言書「わたしたちが描くまちの姿」を市長に渡しました。



『わたしたちが描くまちの姿』について (提言)

2030年の稲城を描く市民会議では、23人の参加者で2030年の稲城の姿について話し合ってきました。「2030年、あなたはどんなまちに暮らしていますか？」というキーワードから将来の稲城の姿を考え始め、話し合うテーマをみんなで出し合い、話し合いを重ねました。子ども達はどんな未来を思い描いているのかを知るために、『みんなの稲城2030年アンケート』も実施しました。

話し合った意見、子ども達の意見をまとめて提言書の案を作成し、3度にわたって大きく見直しました。市民に広く意見公募も行いましたし、私達参加者でも様々な意見が出ました。そうして、まとめた、私達が描くまちの姿です。

10の暮らしたいまちを通してみえてきた3つの姿  
市民の力が活躍するまち  
コミュニティが活躍するまち  
ほどよく田舎ほどよく都会なまち  
この中に記されたひとつひとつが、私達23人の言葉でもあります。  
2030年の稲城に向けて、ここに提言します。

令和元年6月28日

2030年の稲城を描く市民会議



2030年の稲城を描く市民会議参加者の感想・メッセージ

敬称略・五十音順

井川 眞知子

次の世代へ…！又、次の世代へと紡いでいく稲城の未来を語り合えた一年間は楽しい時間でした。メンバー、事務局の皆さんに感謝です。更に「市民力」が広がっていくことを期待します。

加藤 拓也

子どもたちのために、もっと「稲城に住みたい」と思える街にしたい思いから参加しました。こんなに稲城に熱い思いがある方々に出会えて、稲城をもっと好きになれました。ありがとうございました。

川畑 一夫

会議を通じて今まで触れたことのない情報や考え方を知り、とても参考になりました。今回の提言がどこまで活用されるのかわかりませんが、将来の稲城がさらに素敵なまちになることを期待しています。

小島 健太郎

稲城に住む市民として、父として、保護者として、利用者として、様々な視点からワクワクする稲城の将来を市民会議の皆さんと意見を共有しながらお話できたことがとても幸せでした。本当にありがとうございました。

島 正夫

長期計画 2030 への参画が私の最後の名誉ある仕事となりました。メインテーマの「ほどよく田舎、ほどよく都会」が早々と承認され一安心。そこから広がる激論の連続にはとても付いて行けなかったが、百花斉放の議論を見事に取り纏められたスタッフの腕に感嘆しました。また夜半の帰路を車で送って下さった多くのメンバー各位に「稲城の優しさ」を実感しました。もうお目にかかる機会はありませんが、お元気で！

「緑濃い稲城の山を振り返り」

磯村 亜希子

太田 慶彦

今回、参加させて頂いた日数が少なくご迷惑をおかけしましたが、稲城市や東京について客観的に考えられたいい機会になりました。稲城市が、持続可能で魅力的な街に発展していくよう、これからも行動していきたいと思えます。

工藤 耕平

今回のメンバーの中では最年少ということで余り活発に発言等は出来ませんでしたが聞いているだけでも皆さんが個人個人の意見を持っている事が分かりとても良い経験になりました。長い間ありがとうございました。

境 剛一

正直、2030年の稲城を描くでの話の内容が”浅かった”ことが心残り（残念！）でも、参加者皆様には、色々な話を聞かせていただき感謝します。（貴重な団らんの時間にもかかわらず、毎回参加に理解を示してくれた妻や子供たちにも感謝！）

所澤 和代

今までの政治は、どちらかと言うと公助と自助が中心だったと思いますが、話し合いを進めて行くと、今の時代は互助や共助をもっと進めなければ暮らしやすさは手に入らないと思いました。

大変良い勉強になり、今後の自分の生き方にも影響があります。

末松 妙子

23人で真剣に稲城の将来について考えることができ、意見ものべました。ただ、障害を持っている方々と一緒に、ご意見をお聞きできなかったことが心残りです。

須田 勉

隅田 梓紗

初めて顔合わせをしたときは、まだ未熟な私に何ができるのか不安でした。しかし、回が進んでいくごとに、一生懸命稲城について考え、意見することができました。今後私達の意見が市全体に反映されることを願います。

富永 順次郎

長井 陽海

「2030年の稲城を描く市民会議」に参加して得られた喜びは、稲城を愛する仲間と真剣に稲城の未来を語り合えた事、また、これまで知らなかった様々な稲城の魅力に気づけた事です。そして、これらを通じて私個人のシビックプライドも磨くことができたように思います。会議は終わりますが、ここを新たな起点として、稲城の発展＝提言書の具現化に向け、一個人として尽力してまいりたいと考えております。ありがとうございました。

西脇 智子

約1年、皆様と色々な話し合いができてとても楽しかったです。参加する前に想像していた以上に、素晴らしい経験でした。10年後の稲城がいま以上にワクワクするまちになりますように。ありがとうございました。

早川 一樹

普段なかなか出会うことがない多様な立場の方々や稲城の未来について話し合うことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。これを機に、微力ながら自発的に活動する市民のみなさんを応援していければと思います。

杉村 隆行

約1年間お疲れ様でした。メンバーのみなさんと時に楽しく時に衝突しながら、同じ目標に向かって真剣に話し合えたことは、私の人生の大きな糧になりました。これからも地域の仲間としてお付き合いいただければ嬉しいです。稲城にはこれからもずっと家族と共に住んでいきたいと思っています。その街の将来に少しでも役に立てたことが誇りです。

田中 明子

稲城全域から集まった様々な世代の方たちと、2030年の稲城の姿を思い描く話し合いは、とても刺激的で楽しいものでした。ほどよく田舎ほどよく都会な今の稲城の良さを残しながら、ますます魅力あるまちになっていく希望を感じました。

戸谷 寿美

中倉 美奈子

今回の会議で、稲城のことを大切に思う方々と語り合う時間は貴重であり刺激的でした。私たちの思いが詰まった提言の内容が実現されていくことを楽しみにしています。みどり豊かで人の温もりあふれる稲城が、今後もずっと続いていくことを願っています。

萩原 志帆

この一年間、市民会議を通して地域のさまざまな人と触れ合い、話し合い、考え合いながら作ってきたものがついに提言書になり、達成感と喜びを感じています。この期間色々貴重な経験と体験をさせていただきました。みなさんありがとうございました。

森崎 美月

今回この会議に参加させていただいて、生まれた時からずっと住んでいる街ですが、自分の知らないことが多いことを実感しました。現状を知り、稲城のこれからの未来について様々な立場の参加者の皆様と議論できたことは大変貴重な経験となりました。ありがとうございました。

